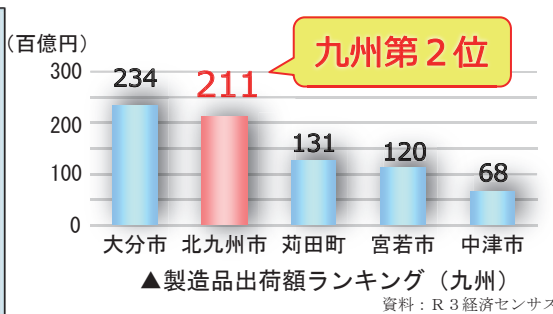
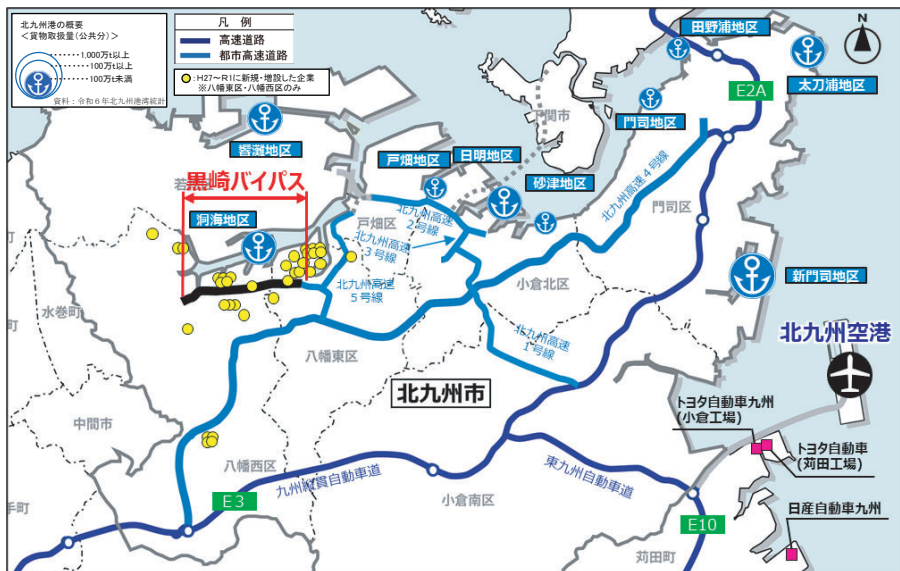


3 自動車専用道路ネットワークの形成による地域産業支援

北九州都市高速道路と接続する黒崎バイパスの整備により広域物流拠点である北九州港、北九州空港等への安定的な物流道路網が形成されることで、更なる地域産業の支援が期待されます。

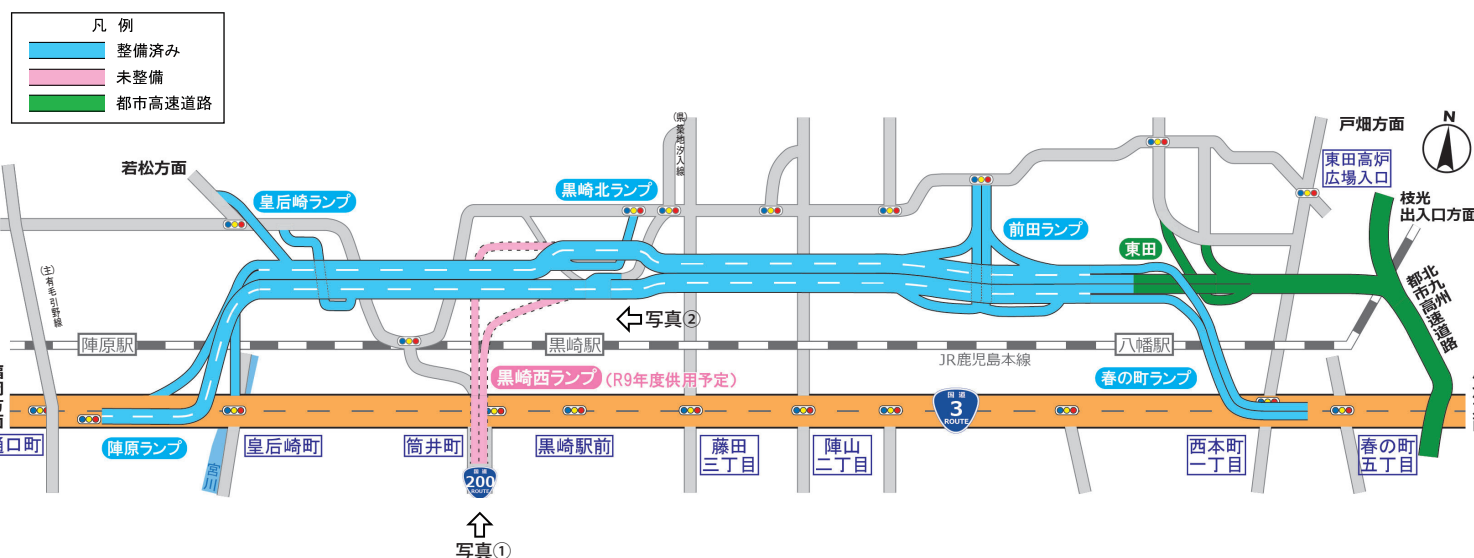


国道3号 黒崎バイパス



EXPRESSWAY

黒崎バイパスの出入り口



完成イメージ



菅原町交差点付近(黒崎西ランプ)

西黒崎駅付近(黒崎西ランプ)

黒崎バイパスや道づくりに関するお問い合わせは



〒802-0803
北九州市小倉南区春ヶ丘10-10
TEL. 093-951-4331 (代表)
FAX. 093-951-4336 (代表)
URL. <https://www.qsr.mlit.go.jp/kitakyu/>



(令和8年1月印刷)





黒崎バイパス



国道3号の要を円滑化

黒崎地区の渋滞を和らげ、交通の流れをスムーズにします。

国道3号の黒崎地区は、小倉方面や福岡市方面への通過交通が多く、これに加え周辺地域から発生する生活交通や産業交通が加わることで渋滞の要因となっています。黒崎バイパスは、渋滞の解消と併せて、都市高速道路と一体となった「自動車専用道路ネットワーク」の形成により、アクセス性、定時性の確保など人や物の流れを円滑にすることで地域経済・産業の発展を支援するとともに、交通事故の減少や交通騒音の低減などの沿道環境の改善を目的として整備しています。

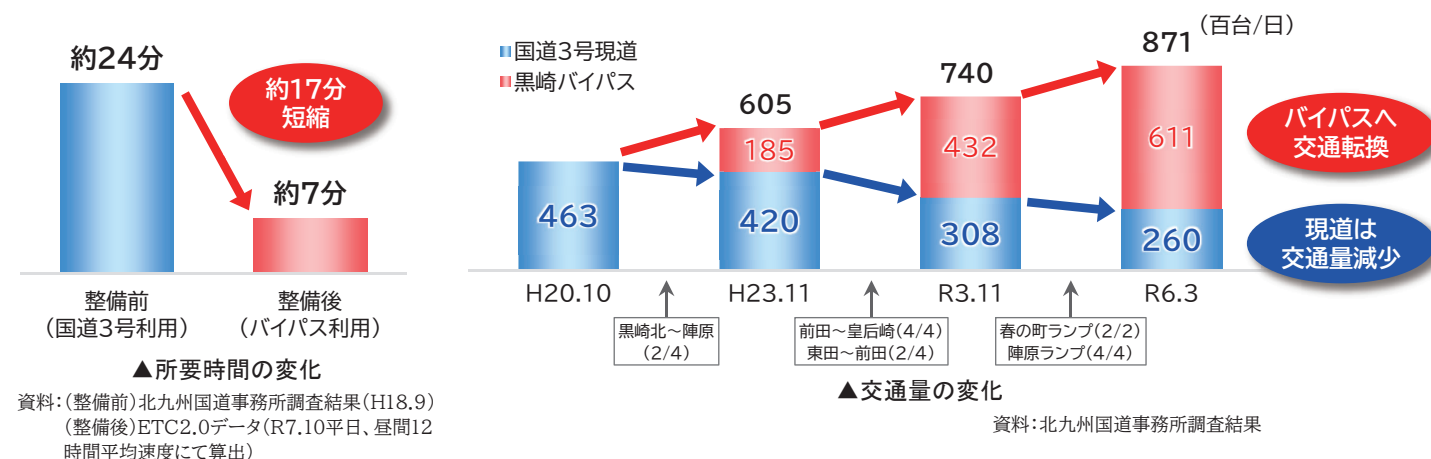
【整備前 国道3号黒崎駅周辺の渋滞状況】



国道3号小倉方面から福岡方面を望む（筒井町交差点付近）

1 交通混雑の緩和と交通安全性の向上

黒崎バイパスの段階的な供用により、国道3号のバイパス機能が確保され、東西方向の所要時間が大幅に短縮されました。また、並行する国道3号などから黒崎バイパスへ交通転換が進み、周辺路線への流入交通量が減少したことで、特に国道3号や山手通りなど東西方向の路線で走行速度が向上しました。さらに、通過交通が排除されることで交通安全性の向上が期待されます。



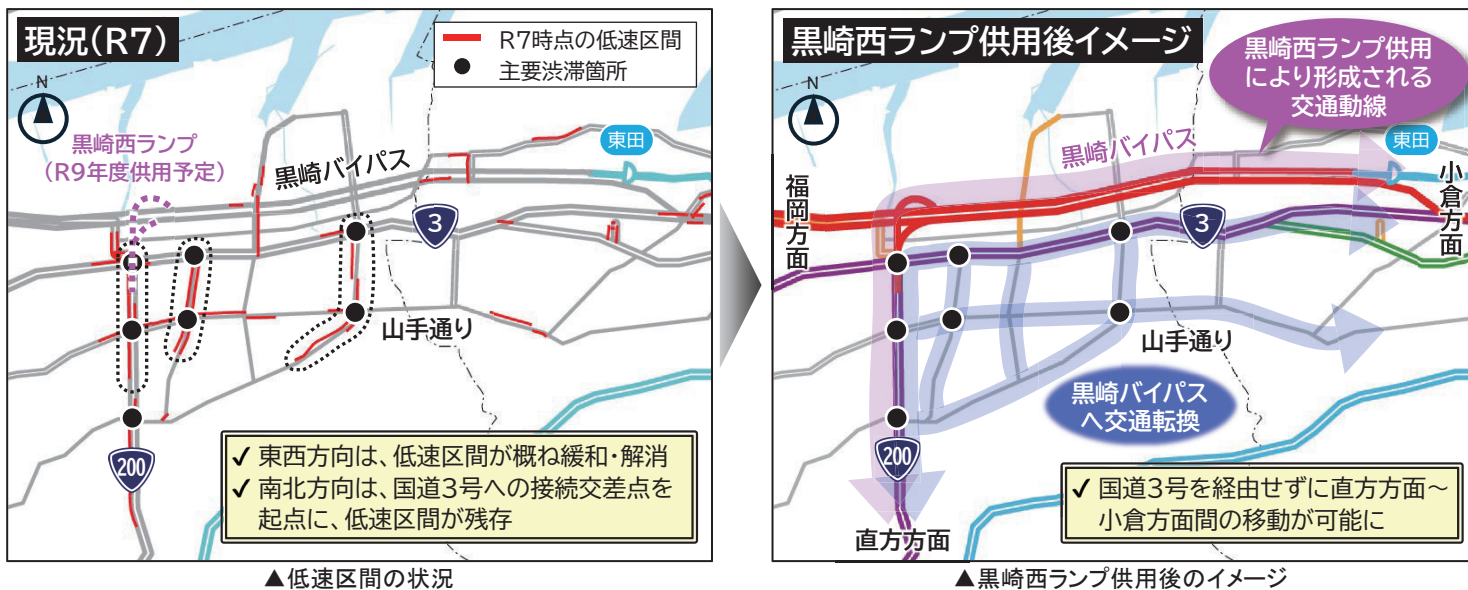
● 事業進捗状況

- 平成3年 事業化
- 平成10年 工事着手
- 平成20年10月 黒崎北ランプ～陣原ランプ間暫定2車線開通
- 平成23年10月 皇后崎OFFランプ開通
- 平成24年3月 皇后崎ONランプ開通
- 前田ランプ～皇后崎ランプ間4車線開通
- 平成24年9月 前田ランプ～都市高速接続暫定2車線開通 (前田地区:0.9km、都市計画道路枝光大谷線:0.3km)
- 令和5年3月 春の町ランプ～前田ランプ、陣原ONランプ開通
- 令和9年度 黒崎西ランプ開通予定



【春の町ランプ～前田ランプ、陣原ONランプ開通】

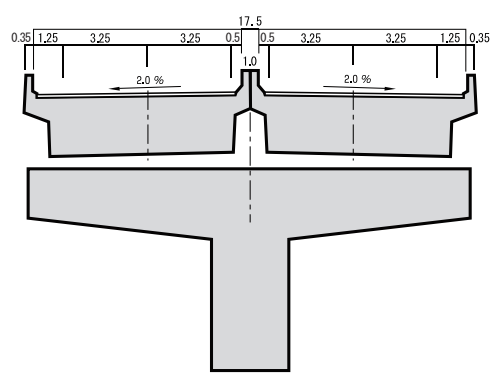
ただし、南北方向では、国道3号に接続する交差点を起点として、依然として低速区間が残っています。今後、黒崎西ランプが供用することで、新たな出入り口として国道3号を経由せずに直方方面～小倉方面間の行き来ができるようになるため、南北方向の路線でも走行性の向上が期待されます。



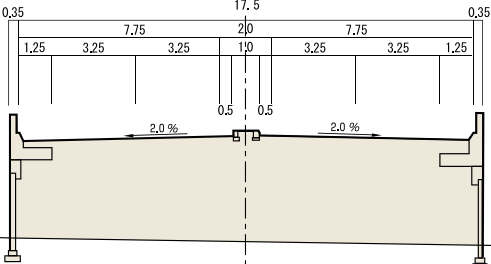
● 標準断面図

(単位: m)

【高架部】



【土工部】

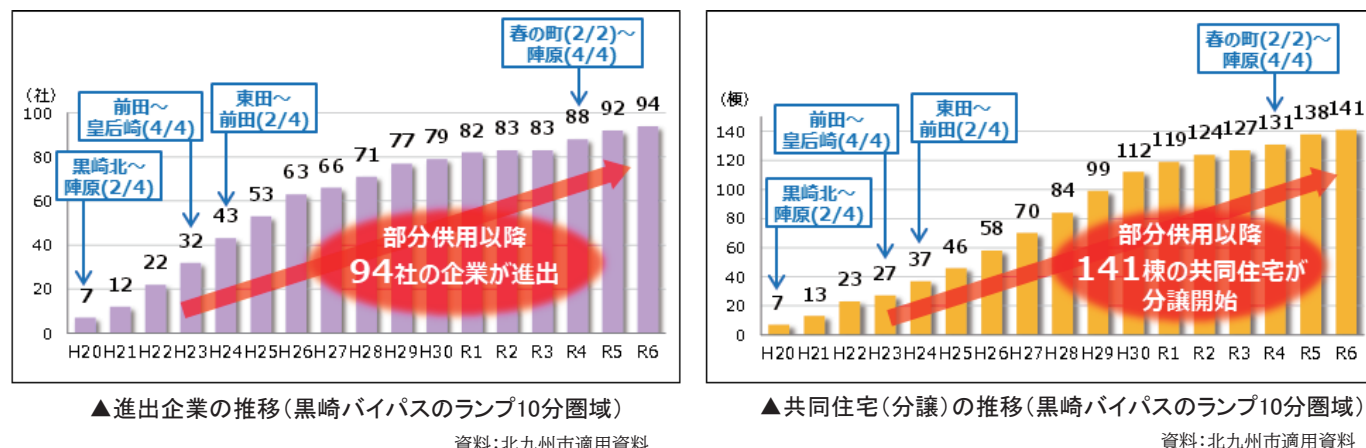


● 長崎街道「黒崎宿」

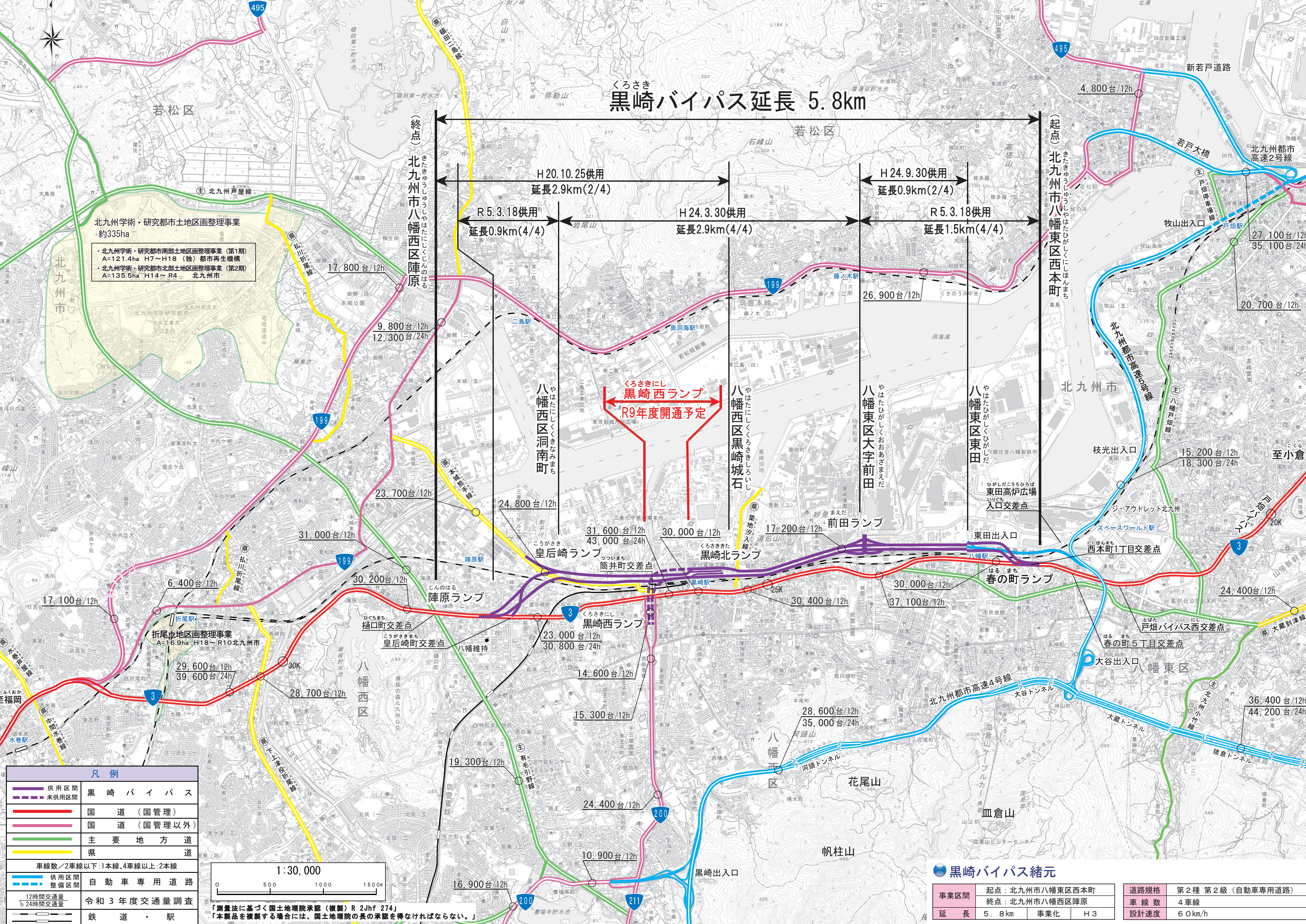


2 地域活力の向上

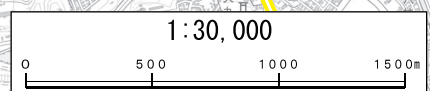
黒崎バイパスの周辺では段階的供用以降、沿線地域から小倉都心部や物流拠点へのアクセスが向上した結果、企業進出や宅地開発、世帯数の増加など、地域活力の向上に寄与しております。



くろさき 黒崎バイパス延長 5.8km



凡例	
——	供用区間 黒崎バイパス
---	未供用区間
——	国道 (国管理)
——	国道 (国管理以外)
——	主要地方道
——	県道
車線数/2車線以下: 1本線、4車線以上: 2本線	
——	供用区間 自動車専用道路
---	整備区間
——	12時間交通量
---	24時間交通量
——	令和3年度交通量調査
——	鉄道・駅



「測量法に基づく国土地理院承認 (複製) R 2Jhf 274」
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

黒崎バイパス緒元	
事業区間	起点: 北九州市八幡東区西本町 終点: 北九州市八幡西区陣原
延長	5.8km
道路規格	第2種 第2級 (自動車専用道路)
車線数	4車線
設計速度	60km/h
事業化	H3